

IX 付録

沿革概要

本校は、明治30年10月1日、山口県大島郡立大島海員学校として設立され、明治34年に山口県立となり、その後時代の進展とともに、昭和14年8月に国立大島商船学校となり、昭和26年4月に国立大島商船高等学校と改称、昭和42年6月1日、法律第18号「国立学校設置法の一部改正」により、大島商船高等専門学校となった。

明治30年10月1日	山口県大島郡立大島海員学校創設
明治34年5月11日	山口県立大島商船学校となる
昭和21年4月8日	鹿児島商船学校の廃止、同校の生徒全員を本校に編入
昭和26年4月1日	昭和25年法律第269号「国立学校設置法の一部改正」により大島商船高等学校となる
昭和42年6月1日	大島商船高等専門学校設置（入学定員：航海学科1学級40名、機関学科1学級40名）
6月16日	初代校長に東京商船大学名誉教授鮫島直人が任命される
昭和44年4月1日	文部省令第8号「国立学校設置法施行規則の一部改正」により機関学科1学級増設
昭和45年4月1日	文部省訓令第19号により庶務課及び会計課新設
昭和47年9月30日	第1回卒業証書授与式挙行
昭和48年4月1日	文部省訓令第4号により学生課新設
昭和60年4月1日	文部省令第9号「国立学校設置法施行規則の一部改正」により機関学科1学級を電子機械工学科に改組（航海学科1学級40名、機関学科1学級40名、電子機械工学科1学級40名）
昭和63年4月1日	文部省令第7号「国立学校設置法施行規則の一部改正」により航海学科1学級、機関学科1学級を商船学科・情報工学科に改組 商船学科1学級40名、電子機械工学科1学級40名、情報工学科1学級40名となる
平成2年2月3日	新校歌校内発表会挙行
平成3年3月28日	校舎（情報工学科棟）竣工
平成5年12月6日	練習船大島丸（3代目）竣工
平成9年10月31日	創基100周年・高専創立30周年記念式典挙行
平成16年3月22日	実習船すばる竣工
平成16年4月1日	独立行政法人国立高等専門学校機構法により、独立行政法人へ移行
平成17年4月1日	専攻科設置（海洋交通システム学専攻4名、電子・情報システム工学専攻8名）
平成19年4月1日	事務部2課制（総務課・学生課）移行
平成20年2月8日	校舎（ものづくり教育研究棟）竣工
平成29年11月18日	創基120周年・高専創立50周年記念式典挙行
令和5年3月13日	練習船大島丸（4代目）竣工

大島商船高専における休講措置対応

保存版

特別警報発令（台風や梅雨時期の豪雨など）による休講等の措置については以下の内容を踏まえ、学校が判断し、さくら連絡網等で連絡します。

学生の確認方法

①さくら連絡網

②テレビ・ラジオ等報道機関の発表により自己判断

ただし、7時、11時の時点で、居住する市町村に特別警報または警戒レベル4以上が発令されている場合は、避難または自宅で待機してください。その後、警報等が解除された場合は、安全に留意して登校してください。

なお、この場合の自宅待機については、届の提出により公認欠席として取扱います。また、交通機関の乱れによる遅刻・欠席も届の提出により公認欠席となります。

